

平成31年度飯能市水道事業会計当初予算（原案）概要

1 基本的な考え方

料金改定や企業立地等により平成27年度以降給水収益が回復したところであるが、給水人口の減少傾向や節水機器の普及などにより、平成29年度決算でも明らかなように給水収益が前年度に比べ減少している。平成31年度以降についても減少が見込まれる一方、施設の更新需要の増加などにより事業経営は依然として厳しい状態が続いていることから、なお一層の経営努力による経費節減を図った予算編成としたところである。

また、平成31年度は、「飯能市水道ビジョン（経営戦略プラン）」と、同計画を基本とする「飯能市水道事業中期経営計画（前期）」の4年度目となる。ビジョンで掲げた、安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給していくため、引き続き経営基盤の強化と水道施設の適正な維持管理に努め、市民から信頼される水道を目指し、水道施設の計画的な整備・維持管理を着実に推進し、安定給水に努めるものとする。

2 予算概要

(1) 給水収益見込と業務の予定量

1 給水収益

平成30年度の給水収益実績をもとに、社会経済情勢等を考慮して見込んだ。

〔上水〕	14億3,075万円	(平成30年度当初予算対比)	0.5%増
〔簡水〕	3,846万9千円	(〃)	0.1%増

2 業務の予定量

・給水戸数	36,280戸	(前年度比較)	280戸)
・年間総配水量	9,895,300m ³	(前年度比較)	△20,700m ³)
・1日平均配水量	27,036m ³	(前年度比較)	△130m ³)

(2) 企業債の借入による財源の確保

平成31年度においては、施設整備に要する財源として企業債の借入を予定している。

借入予定額 4億円

〔	平成30年度末起債残高見込額	38億7,040万円	〕
	前年度比	1億8,385万円の増	

※平成31年度末起債残高見込額 40億2,381万円

(3) 有収率向上対策事業

漏水調査委託の年度ごとの対象エリアを拡大し、引き続き、市内を一巡し、漏水の早期発見と漏水量の抑制に努めるとともに、宅内漏水修理における市の費用負担範囲を拡大し、有収率の向上を図る。

・平成31年度	旧飯能地区の一部ほか	140km
---------	------------	-------

(4) 主な建設改良事業

- ① 老朽管布設替事業 3億6,010万7千円
〔旧市街地〕 東町地内配水管布設工事、柳町地内配水管布設工事
〔漏水懸念箇所〕 川崎・下川崎地内配水管布設工事、平戸地内配水管布設工事
〔道路工事関連〕 双柳地内配水管布設工事
- ② 配水管網整備事業 1億7,686万8千円
〔土地区画整理関連〕 笠縫、岩沢北部土地区画整理地内配水管布設工事
〔下水道関連〕 笠縫、岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事
- ③ 浄水施設等再構築事業 1億4,904万円
飯能地内送配水管布設工事 ※平成30・31年度継続事業
- ④ 取水・浄水・配水施設等整備事業 2億7,215万1千円
小岩井浄水場ほか遠方監視装置等更新工事
美杉台ポンプ場受変電設備更新工事
有間増圧ポンプ場非常用発電機更新工事